

読書だよ！全員サイレント



成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより123号
R1. 11. 1

読書だよ！全員サイレント

学力づくり委員会

取り組み内容

・図書館マナーを守りながら、静かな読書空間を作る。
・なるべく多くの人が図書館に足を運び、本に出会う機会を作る。(学級の貸出率を上げる)

取り組み方法

・お昼休みの図書館利用を「おしゃべり禁止」にする。
・図書館に足を運んでもらうために、読書空間を演出する。(音楽を流す、机をなくす、ハロウィン風、野外など)

点検方法

・毎日(委員が)2~3人ずつ巡回回るとフェック。
・お昼休みに、静かにマナーを守り読書した人、見本となった人を選び、「MRP」として発表。(毎日)
・週ごとの貸出冊数(貸出率)に、おしゃべり(減点)、MRP(加点)し、学級ごとのポイントを提示する。
※「MRP」のRはReading

「読書だよ！全員サイレント」は、学力づくり委員会が読書月間と連動して取り組んでいるひとつです。この取組は、夏休みに開催された生徒会リーダー研修会で、学校課題解決に向けた取組を具体化したものとなっています。取り組むねらいとして、

①図書館マナーを守りながら、静かな読書空間をつくる。
②多くの人が図書館に足を運び、本に出会う機会をつくる。(学級の貸出率を上げる)
③具体的な方法は、①委員会ですべて、読書利用点検をおこなう。②図書館で静かに読書できている人を毎日、MRP表彰する。
(※説明しよう。MRPとは、Most Reading Personの略で、最も優れた読書姿勢の人に贈られる賞のことだ。)

一回目と二回目のMRPは、U・Mさん、A・Sさん、I・Sさんでした。
学力づくり委員会の取り組みは、学校生活を向上させる取り組みとして、大いに期待できます。ユニークな取り組みを応援していきたい。



読書月間中は、ひとりの3冊読破をめざし、ポップコンテスト、読書標語コンテスト、図書館朝の会、新任職員のお勧め本の紹介、そして、今年初の「学級対抗読書バトル対決」などのイベントを行っています。次週は、関連記事を掲載予定です。

読み始めると、面白くて止まらなくて、ついつい夜遅くまで寝る時間を削って、一気に読み切ることができました。久しぶりの寝不足ですが、満足です。

知念実希人さんの小説は展開が早く、院内でのドロドロした人間模様をスババと切り込んでくれる。それでいて、医者として、患者さんどう向き合っていくか良いのかを教えてください。

病院は嫌いなので、あまり行きたくはないが、亡くなった父がまだ療養中の頃の母と兄弟、妹の看護師とともに看病していた頃を思い出し、涙をこぼしながら読んでいました。静かな夜の時間に、生きていくことのありがたさを実感しながら読みました。お勧めです。

ひとつむぎの手
知念実希人・著 新潮社

人として一番大切なものは何か。若き心臓外科医に課された困難を極めるミッション。医療ミステリーの旗手が挑むヒューマンドラマ。

大学病院で過酷な勤務に耐えている平良祐介は、医局の最高責任者・赤石教授に三人の研修医の指導を指示される。彼らを入局されれば、念願の心臓外科医への道が開けるが、失敗すれば…。さらに、赤石が論文データをねつ造したと告発する怪文書が出回り、祐介は「犯人探し」を命じられる。(中略)やがて物語は予想もしなかった事態へと発展していく。
(BOOKデータベースより)

